

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 五感脳トレーニング		
○保護者評価実施期間	2024年8月19日		～ 2024年9月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援10人・放課後等デイサービス19人	(回答者数) 児童発達支援9人・放課後等デイサービス18人
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己肯定感を上げる事に力を入れている。	一つ一つのトレーニングが出来たらタッチを五回ずつして、自信につなげています。	とても頑張ったらハイタッチをして、達成感を感じてもらっています。
2	右脳・左脳のトレーニングをゲーム感覚で楽しく行っています。	ゲーム感覚で楽しく行っています。子どもたちが選択をして、自発力を養っています。	気分がのらない時は無理やりにはやらずに、常に楽しい雰囲気づくりをしています。
3	体幹トレーニング・指先のトレーニング・アート等も総合的に楽しく行っています。	バランスよく様々な事にチャレンジをして、視野を広げています。	少しずつ無理なく出来る事を増やしています。子どものペースを大切にしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他との連携が取りづらい。	連携を取りたくって連絡をしても、個人情報なので教えられませんと言われることもあります。	園や学校にも連携の事を伝えていく。
2	イベントを行っても参加者は大体毎回同じ。	イベントだと欠席になる利用者がいる。普段家族で外出をしているので、事業所でのイベントの必要性を感じていない方もいます。	イベントを通じて、地域の人たちと交流をする大切さを伝えていく。 子ども同士の関わりの大切さを伝えていく。
3	家族支援プログラムや保護者会の参加者が少ない。	保護者が学ぶ必要はないと思っている人が多い。それぞれのライフスタイルが異なるので、参加できる日・時間がバラバラになってしまう。	保護者の学びの大切さを伝えていく。 毎回開催の曜日や時間を変えて、皆さんに参加をしてもらいやすいようにしていく。